新規・継続	新規	事業コード	3 - 3 - 2 - ⑥	事業名	ごみ減量・資源化の充実・拡大	
所管課	環境部		ごみ減量・資源化推進担当 資源循環課、環境施設課	関連課		
事業目標	市民と事業者と一体となった取組により、ごみの減量・資源化を推進します。					
特記事項	関連事業：生ごみの排出抑制(3-3-1-②)・植木剪定材の資源化(3-3-2-③)・名越クリーンセンターの延命化(3-3-3-⑩)					
事業工程	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	事業費推計(千円)
			ごみ減量・資源化の充実・拡大	ごみ減量・資源化の充実・拡大	ごみ減量・資源化の充実・拡大	政策 907,816
						経常 0
予算額(千円)			33,015			合計 907,816
事業実績			竹、笹、シュロの資源化。展示用生ごみ処理機の購入及び普及活動。リユース食器の助成。今泉クリーンセンターの耐震診断・耐震設計。			
決算額(千円)			25,284			25,284
具体的(数値)目標	平成21年度と比較して、平成25年度までに約3,600tの焼却削減量を目指します。					
達成率			30%			
協働の相手方	☐ 市民 ☐ 事業者 ☐ NPO ☐ 自治・町内会 ☐ その他()					
事業履歴備考			予：新規採択			
事業実績(詳細)						
平成21年度						
平成22年度						
平成23年度	今泉クリーンセンターの耐震診断・耐震設計を実施しました。燃やすごみとして収集していた竹、笹、シュロを植木剪定材として受け入れることを開始しました。また、説明会などで使用する展示用生ゴミ処理を購入し、生ごみ処理機の普及活動を行い、イベント等で、リユース食器を使用した団体に助成を行いました。(流用減：10千円、補正減：4,999千円)					
平成24年度						
平成25年度						